

教員紹介(教育業績書)

氏名	ひらがな	職位	所属(学科等)									
青木 萌	あおき もえ	講師	地域共生学科国際コミュニケーションコース									
教育理念(学生へのメッセージ) 長崎短期大学の中国語教育の強みは、「徹底した資格試験の対策」と「安全な留学制度」です。 就職活動で役立つ中国語の資格試験(HSK)は、一年間で4級、二年間で5級あるいは最高級の6級を目指します。留学は、世界遺産が複数あり、自然が豊かな観光地として知られる黄山学院への留学を主に提供し、3ヵ月留学、1年留学、4年制大学への編入が選べます。安くて安全に留学できるのが魅力です。 二年間で中国語という一生の宝物が手に入るよう、全力でサポートします！												
教育の責務 <table border="0"> <tr> <td>中国語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ</td> <td>中国語演習Ⅰ、Ⅱ</td> <td>中国語ライティング&文法Ⅰ、Ⅱ</td> </tr> <tr> <td>中国語会話</td> <td>中国語検定Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中国留学の指導</td> <td>HSK(中国語検定)対策</td> <td></td> </tr> </table>				中国語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	中国語演習Ⅰ、Ⅱ	中国語ライティング&文法Ⅰ、Ⅱ	中国語会話	中国語検定Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ		中国留学の指導	HSK(中国語検定)対策	
中国語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	中国語演習Ⅰ、Ⅱ	中国語ライティング&文法Ⅰ、Ⅱ										
中国語会話	中国語検定Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ											
中国留学の指導	HSK(中国語検定)対策											
教育方法 中国語の資格試験であるHSK対策の指導には自信があります。 ①1対1の発音練習、②質と量のバランス、③様々な方法で楽しく反復練習、この三つを大切にしています。												
他者評価 1. 長崎短期大学の令和元年度ベストティーチャー賞を受賞(令和2年3月16日) 2. 2018年度ピアレビュー評価(中国語ライティング&文法Ⅰ):5人(ちょうどよい人数)で、学生が気軽に質問できる雰囲気があった。指示や説明などすべてが中国語、学生がわからないような部分は日本語での説明があり、学生がリスニングも、ライティングも同時に身につけることができる。 3. 2019年度ピアレビュー評価(中国語アクティブラーニング):先生がほぼ中国語で授業を展開して、そこに学生達がしっかりついてきていた。自然なやり取りがあって、直接法の良さと、学生の甘えの無さが、理想的な授業空間だと思いました。												
学生の学修成果 HSKの受験結果(2018年度4月-2020年度5月現在) <table border="0"> <tr> <td>6級 [1名合格]</td> <td>5級 [4名合格]</td> <td>4級 [14名合格]</td> </tr> <tr> <td>3級 [32名合格]</td> <td>2級 [8名合格]</td> <td>1級 [7名合格]</td> </tr> </table>				6級 [1名合格]	5級 [4名合格]	4級 [14名合格]	3級 [32名合格]	2級 [8名合格]	1級 [7名合格]			
6級 [1名合格]	5級 [4名合格]	4級 [14名合格]										
3級 [32名合格]	2級 [8名合格]	1級 [7名合格]										
今後の目標(短期・長期) 教育では、中国語履修者の全員が2年間で必ずHSK4級以上に合格することを目標にして頑張っています。研究においては、現在、主に、形式意味論の概念を運用しながら、朱徳熙が著した《语法讲义》における文法現象について詳しく解析しています。そして、それらの成果を教育でもいかせるよう努力しています。												
専門分野(学問分野/専攻) 現代中国語文法 形式意味論 研究テーマ(研究領域) 現代中国語の時間体系 朱徳熙研究												

所属学会		
日本中国語学会	九州中国学会	中国近世語学会
学歴・学位・免許資格		
平成 22 年 3 月	神奈川大学 外国語学部 中国語学科 卒業 (学士(文学))	
平成 24 年 3 月	神奈川大学大学院 外国語学研究科 中国言語文化専攻 (修士課程) 修了 修士(文学)	
平成 27 年 3 月	神奈川大学大学院 外国語学研究科 中国言語文化専攻 (博士課程) 修了 博士(文学)	
職歴		
平成 27 年 4 月	神奈川大学 外国語学部 非常勤講師 (担当科目:中国語初級、中国語中級) (平成 29 年度まで)	
平成 28 年 4 月	大月市立 大月短期大学 経済科 非常勤講師 (担当科目:中国語Ⅰ、中国語Ⅱ) (平成 29 年度まで)	
平成 30 年 4 月	長崎短期大学 国際コミュニケーション学科 専任教員(助教)(令和 2 年 3 月まで)	
令和 2 年 4 月	長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース専任教員(講師)(現在に至る)	
教育研究業績	著書、学術論文等の名称	発行所、発表雑誌等又は発表学会等
[学術論文]		
平成 23 年 11 月	「現代中国語の時態副詞“正”の意味と論理構造	修士論文(神奈川大学大学院)
平成 25 年 3 月	「現代中国語の統語成分“在”の用法と意味」	『神奈川大学言語研究』第 35 号
平成 25 年 9 月	「時態成分“在”の時制構造における意味と論理」	『人文研究』第 180 集(神奈川大学)
平成 25 年 12 月	「副詞“在”が表す二つの進行性」	『連語論研究<Ⅱ>』第 34 号
平成 25 年 12 月	「時態成分“在”の生成過程」	『人文研究』第 181 集(神奈川大学)
平成 26 年 2 月	「副詞“在”の意味解釈と問題点」	『言語と文化論集』第 20 号(神奈川大学)
平成 26 年 3 月	「時態成分“在”と“正”の意味と論理」	『神奈川大学言語研究』第 36 号
平成 26 年 3 月	「時態副詞“在”が表す二つの進行の論理意味分析」	『人文研究』第 182 集(神奈川大学)
平成 26 年 9 月	「現代中国語における時相構造の「量化」現象」	『人文研究』第 183 集(神奈川大学)
平成 26 年 9 月	「現代中国語における副詞“在”の意味と論理」	博士論文(神奈川大学大学院)
平成 26 年 12 月	「副詞“在”と前置詞“在”の統一的解釈」	『人文研究』第 184 集(神奈川大学)
平成 27 年 2 月	「現代中国語の副詞“都”の意味と論理」	『言語と文化論集』第 21 号(神奈川大学)
平成 27 年 3 月	「現代中国語における“離合詞 A+代名詞/名詞 + 離合詞 B”構造の意味と論理」	『人文研究』第 185 集(神奈川大学)
平成 27 年 9 月	「現代中国語における副詞“在”の意味と論理」	『言語と文化論集』(特別号)(神奈川大学)
平成 27 年 9 月	「副詞“在”が表す[進行]について」	『人文学研究所報』No.54 (神奈川大学)
平成 27 年 9 月	「疑問詞連鎖構文の意味と論理」	『人文研究』第 186 集(神奈川大学)
平成 27 年 12 月	「朱德熙(1978)の S4“的”構文について」	『人文研究』第 187 集(神奈川大学)
平成 28 年 2 月	「朱德熙(1978)の S4“的”構文における「断定基準成分」	『言語と文化論集』第 22 号(神奈川大学)
平成 28 年 3 月	「疑問詞連鎖構文の意味と論理—その(二)」	『神奈川大学言語研究』第 38 号
平成 28 年 3 月	「朱德熙(1982)の粘着型動目構造と統語型動目構造について」	『人文研究』第 188 集(神奈川大学)
平成 28 年 3 月	「書記言語における副詞“在”の意味分析」	『人文学研究所報』No.55(神奈川大学)
平成 28 年 9 月	「朱德熙(1982)の動目構造の意味分析」	『人文学研究所報』No.56(神奈川大学)
平成 29 年 2 月	「朱德熙(1982)における「話題」について」	『言語と文化論集』第 23 号(神奈川大学)
平成 29 年 3 月	「朱德熙(1982)における接尾辞“着”の意味分析」	『大月短大論集』第 48 号
平成 29 年 3 月	「龚千炎(1995)における中国語の時制構造の意味分析」	『人文学研究所報』No.57(神奈川大学)

平成 29 年 9 月 「“(是)……的”構文の幾つかの問題点について」	『人文研究』,第 192 集(神奈川大学)
平成 30 年 3 月 「現代中国語における“在那儿+VP”について」	『神奈川大学言語研究』,第 40 号
平成 31 年 3 月 「朱德熙(1982)の主語と目的語の関係について」	『長崎短期大学研究紀要(第 31 号)』
令和 2 年 5 月 「朱德熙(1982)の存現目的語について」	『長崎短期大学研究紀要(第 32 号)』
[翻訳書]	
平成 23 年 1 月 『素食美人—身体も心も綺麗になる!—』	中央アート出版社
平成 29 年 12 月 『宣教師漢文小説の研究』	東方書店
[研究ノート]	
平成 29 年 3 月 「朱德熙(1982)の疑問代詞の非疑問用法について」	『神奈川大学言語研究』,第 39 号
[報告書]	
平成 31 年 3 月 「国際コミュニケーション学科・中国語教育への新たなチャレンジ—より効果的な中国語教育の取り組みと新たな中国留学システムの確立—」	『長崎短期大学研究紀要(第 31 号)』
令和 2 年 5 月 「国際コミュニケーション学科 中国語教育への新たなチャレンジ(2)」(共著)	『長崎短期大学研究紀要(第 32 号)』
社会における活動等 (学会・研究会等の委員・役員／講演会／社会貢献／表彰／他)	
平成 21 年 12 月 HSK(漢語水平考試)高等 10 級 取得	
平成 24 年 12 月 日本中国語学会関東支部例会(拓殖大学)にて口頭発表 (現代中国語の時態成分“在”の論理的意味分析)	
平成 25 年 2 月 国際連語論学会第一回大会(大東文化大学)にて口頭発表 (時態副詞“在”が表す二つの進行性)	
平成 26 年 2 月 国際連語論学会第二回大会(大東文化大学)にて口頭発表 (現代中国語における時相の「量化」現象)	
平成 26 年 11 月 日本中国語学会関東支部例会(慶応大学)にて口頭発表 (現代中国語における副詞“都”の意味と論理)	
平成 27 年 11 月 日本中国語学会第 65 回全国大会(東京大学)にて口頭発表 (“(是)……的”構文の焦点対象について)	
平成 28 年 11 月 日本中国語学会第 66 回全国大会(立命館大学)にて口頭発表 (“(是)……的”構文における述語動詞の目的語について)	
平成 29 年 11 月 日本中国語学会第 67 回全国大会(中央大学)にて口頭発表 (“房子房子卖了, 车车没了”について)	
令和元年 11 月 日本中国語学会第 69 回全国大会(お茶の水女子大学)にてポスターセッション発表 ([経験]の意を表す“过”が V+O の後に生起する例について)	

Faculty introduction(Educational achievements)

Name	Position	Affiliation(Department, etc.)									
Aoki Moe	Teacher	Department of Regional Collaboration /Global Communication Course									
<p>Education philosophy(Message to students)</p> <p>The strengths of Chinese language education at Nagasaki Junior College are “thorough qualification examination measures” and “safe study abroad system”.</p> <p>In the Chinese qualification test (HSK), which is useful for job hunting, we aim for students to achieve 4th grade in one year, and 5th grade in 2 years, or 6th grade, which is the highest grade. We offer study abroad at Huangshan Gakuin, which has multiple world heritage sites and is known as a tourist destination with abundant nature, where students can choose to study for 3 months, 1 year, or transfer to a 4-year university. It is a popular place to study abroad cheaply and safely.</p> <p>We will do our best to help you gain the treasure of the Chinese language for a lifetime in two years!</p>											
<p>Educational responsibilities</p> <table border="0"> <tr> <td>Chinese I, II, III</td> <td>Chinese Exercise I, II</td> <td>Chinese Lighting & Glamor I, II</td> </tr> <tr> <td>Chinese conversation</td> <td>Chinese test I, II, III</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Guidance for studying in China</td> <td>HSK (Chinese test) measures</td> <td></td> </tr> </table>			Chinese I, II, III	Chinese Exercise I, II	Chinese Lighting & Glamor I, II	Chinese conversation	Chinese test I, II, III		Guidance for studying in China	HSK (Chinese test) measures	
Chinese I, II, III	Chinese Exercise I, II	Chinese Lighting & Glamor I, II									
Chinese conversation	Chinese test I, II, III										
Guidance for studying in China	HSK (Chinese test) measures										
<p>Education method</p> <p>I am confident in teaching HSK preparation, which is the Chinese qualification test.</p> <p>Three points are important. (1) One-on-one pronunciation practice, (2) Balance between quality and quantity, (3) Fun and repetitive practice in various ways.</p>											
<p>Evaluation by others</p> <p>1. Received the Best Teacher Award for the first year of Reiwa from Nagasaki Junior College (March 16, 2nd year of Reiwa)</p> <p>2. 2018 Peer Review Evaluation (Chinese Writing & Grammar I): with 5 people (just right number of people), students can feel free to ask questions</p> <p>All instructions and explanations are in Chinese, and parts that students do not understand are explained in Japanese.</p> <p>Students can learn both listening and writing at the same time.</p> <p>3. 2019 Peer Review Evaluation (Chinese Active Learning): “The teacher gives lessons almost entirely in Chinese and the students were following. There was natural interaction, the value of a direct method and the appropriate difficulty for the students was an ideal classroom space.”</p>											
<p>Student achievements</p> <p>HSK test results (April 2018–May 2020)</p> <table border="1"> <tr> <td>Grade 6 [1 pass]</td> <td>Grade 5 [4 people passed]</td> <td>Level 4 [14 people passed]</td> </tr> <tr> <td>Level 3 [32 pass]</td> <td>Level 2 [8 people passed]</td> <td>Level 1 [7 people passed]</td> </tr> </table>			Grade 6 [1 pass]	Grade 5 [4 people passed]	Level 4 [14 people passed]	Level 3 [32 pass]	Level 2 [8 people passed]	Level 1 [7 people passed]			
Grade 6 [1 pass]	Grade 5 [4 people passed]	Level 4 [14 people passed]									
Level 3 [32 pass]	Level 2 [8 people passed]	Level 1 [7 people passed]									
<p>Future goals (short term and long term)</p> <p>In education, we are working hard towards the goal that all Chinese students will pass HSK Level 4 or higher in two years. In my research, I am currently analyzing in detail the grammatical phenomena in Zhu Dexi’s “</p>											

语法 讲义”, mainly using the concept of formal semantics. And we are trying to make use of those results in students education.		
Specialized field (academic field / major)		
Chinese grammar	Formal semantics	
Research theme (research area)		
Chinese time system	Zhu Dexi Research	
Academic societies		
Japanese Society of Chinese	Kyushu Chinese Society	Chinese Early Modern Language Society
Education / degree / license		
March 2010	Graduated from Kanagawa University, Faculty of Foreign Studies, Department of Chinese (Bachelor of Letters)	
March 2012	Graduate School of Foreign Languages, Kanagawa University, Department of Chinese Language and Culture (Master’s Program) Master’s (Literature)	
March 2015	Graduate School of Foreign Languages, Kanagawa University, Department of Chinese Language and Culture (Doctoral Program) Completed Doctor of Letters	
Work history		
April 2015	Part-time Lecturer, Faculty of Foreign Studies, Kanagawa University (Course: Beginner Chinese, Intermediate Chinese) (Until 2017)	
April 2016	Part-time lecturer at Ohtsuki City College, Department of Economics (Course: Chinese I, Chinese II) (Until 2017)	
April 2018	Nagasaki Junior College, Department of International Communication, Full-time Faculty (Assistant Professor) (until March 2020)	
April 2020	Nagasaki Junior College, Department of Regional Symbiosis, International Communication Course Full-time Faculty (Lecturer) (To date)	
Education and research achievements	Names of books, academic papers, etc.	Publishers, publication magazines, presentation societies, etc.
[academic paper]		
November 2011	Adverb “zheng (正)” in mandarin chinese semantics	Master’s thesis (Kanagawa University Graduate School)
March 2013	A Progressive Aspect Marker “Zai” in Mandarin Chinese Semantics	“Kanagawa University Language Studies”, No. 35
September 2013	Progressive aspect of “zai (在)” and tenses in Mandarin Chinese	“Humanities Research”, Vol. 180 (Kanagawa University)
December	Two types of adverbial phrase “zai(在)” in	“Collocation Theory <II>”, No. 34

2013	Chinese Semantics and Syntax	
December 2013	How to construct sentences including the aspect marker “zai (在)” in Mandarin Chinese	“Humanities Research”, Vol. 181 (Kanagawa University)
February 2014	A Review of Studies on Mandarin Chinese adverb “zai (在)”	“Language and Culture”, No. 20 (Kanagawa University)
March 2014	Aspect markers “zai(在)” and “zheng (正)” as a modifier in Chinese Syntax and Semantics	“Kanagawa University Language Studies”, No. 36
March 2014	Two types of progressive aspect expressed by “zai (在)” in Mandarin Chinese	“Humanities Research”, Vol. 182 (Kanagawa University)
September 2014	A Study of Phase in Mandarin Chinese	“Humanities Research”, Vol. 183 (Kanagawa University)
September 2014	Adverb Zai(在) in Mandarin Chinese Semantics	Doctoral dissertation (Kanagawa University Graduate School)
December 2014	Unified interpretation of zai(在) construction in Chinese Syntax and Semantic	“Humanities Research”, Vol. 184 (Kanagawa University)
February 2015	Adverb dou(都) in Mandarin Chinese Semantics	“Language and Culture”, No. 21 (Kanagawa University)
March 2015	Syntax and Semantics of the sentences including V-O Compounds in Mandarin Chinese	“Humanities Research”, Vol. 185 (Kanagawa University)
September 2015	Adverb Zai(在) in Mandarin Chinese Semantics	“Language and Culture” (Special Issue) (Kanagawa University)
September 2015	A Semantic Analysis of Adverb “zai(在)”	“Humanities Research Institute Bulletin”, No.54 (Kanagawa University)
September 2015	Semantics of the sentences including repeated interrogative indefinites in Mandarin Chinese	“Humanities Research”, Vol. 186 (Kanagawa University)
December 2015	A study of S4 de-sentences in Zhu (1978)	“Humanities Research”, Vol. 187 (Kanagawa University)
February 2016	A study of S4de-sentence in Zhu(1978) : part2	“Language and Culture”, No. 22 (Kanagawa University)
March 2016	Semantics of the sentences including repeated interrogative indefinites in Mandarin Chinese :part2	“Kanagawa University Language Studies”, No. 38
March 2016	The Study of Verb-Object Constructions in Zhu(1982)	“Humanities Research”, Vol. 188 (Kanagawa University)
March 2016	A Semantic Analysis of Adverb “zai(在)”	“Humanities Research Institute Bulletin”,

	in Written Language	No.55 (Kanagawa University)
September 2016	A Study of Class Meaning of the V-O Construction in Zhu (1982)	"Humanities Research Institute Bulletin", No.56 (Kanagawa University)
February 2017	A Study of topic in Zhu (1982)	"Language and Culture", No. 23 (Kanagawa University)
March 2017	An Analysis of the Suffix "zhe" in the Work of Zhu Dexi (1982)	"Otsuki Junior College", No. 48
March 2017	A study of tenses in Gong(1995)	"Humanities Research Institute Bulletin", No.57 (Kanagawa University)
September 2017	Review of Studies on the Construction "(shi).....de"	"Humanities Research", Vol. 192 (Kanagawa University)
March 2018	The Study of the " 在那儿+ VP" in Mandarin Chinese	"Kanagawa University Language Studies", No. 40
March 2019	An Analysis of Relation between Subject and Object in the Work of Zhu Dexi (1982)	"Bulletin of Nagasaki Junior College Research (No. 31)"
May 2020	The Study of Existential Sentence in Zhu (1982)	"Bulletin of Nagasaki Junior College Research (No. 32)"
	[Translation]	
January 2011	Beautiful woman-Beautiful body and mind!	Central Art Publisher
December 2017	Study of missionary Chinese novels	Toho Bookstore
	[Research Note]	
March 2017	A Study of Question Words as Indefinite Pronouns in Zhu (1982)	"Kanagawa University Language Studies", No. 39
	[report]	
March 2019	Global Communication Department · New Challenge for Chinese Study —More Effective Methods of Chinese Language Study and a New Establishment of Study Abroad Program in China—	"Bulletin of Nagasaki Junior College Research (No. 31)"
May 2020	Global Communication Department · New Challenge for Chinese Study (2)	"Bulletin of Nagasaki Junior College Research (No. 32)"
	Activities in society (members / officers of academic societies / study groups / lectures / social contributions / commendations / others)	
December 2009	HSK (Hanyu Shuiping Kaoshi) Higher 10th grade acquisition	
December 2012	Oral presentation at the Kanto Branch Meeting of the Chinese Society of Japan (Takushoku University)	

February 2013	Oral presentation at the 1st Annual Meeting of the International Association of Collocations (Daito Bunka University)
February 2014	Oral presentation at the 2nd Annual Meeting of the International Association of Collocations (Daito Bunka University)
November 2014	Oral presentation at the Kanto Branch Meeting of the Chinese Society of Japan (Keio University)
November 2015	Oral presentation at the 65th National Convention of the Chinese Society of Japan (University of Tokyo)
November 2016	Oral presentation at the 66th National Convention of the Chinese Society of Japan (Ritsumeikan University)
November 2017	Oral presentation at the 67th National Convention of the Chinese Society of Japan (Chuo University)
November 2019	Poster session presentation at the 69th National Convention of the Chinese Society of Japan (Ochanomizu University)